

契約当事者市町別の相談件数

平成30年度（平成30年4月～平成30年9月）

市町名	H30年度件数	H29年度件数	増減	対前年度比	市町名	H30年度件数	H29年度件数	増減	対前年度比
津市	272	262	10	103.8%	朝日町	13	12	1	108.3%
四日市市	114	160	-46	71.3%	川越町	18	12	6	150.0%
伊勢市	75	74	1	101.4%	多気町	20	16	4	125.0%
松阪市	115	130	-15	88.5%	明和町	33	30	3	110.0%
桑名市	84	90	-6	93.3%	大台町	9	13	-4	69.2%
鈴鹿市	84	98	-14	85.7%	玉城町	16	11	5	145.5%
名張市	61	59	2	103.4%	度会町	3	4	-1	75.0%
尾鷲市	11	8	3	137.5%	大紀町	9	3	6	300.0%
亀山市	33	32	1	103.1%	南伊勢町	8	8	0	100.0%
鳥羽市	9	13	-4	69.2%	紀北町	14	16	-2	87.5%
熊野市	15	11	4	136.4%	御浜町	4	7	-3	57.1%
いなべ市	41	30	11	136.7%	紀宝町	7	6	1	116.7%
志摩市	27	34	-7	79.4%					
伊賀市	50	70	-20	71.4%	県内不明	11	20	-9	55.0%
木曾岬町	6	8	-2	75.0%	県外・不明	56	58	-2	96.6%
東員町	28	16	12	175.0%					
菰野町	38	29	9	131.0%	合計	1,284	1,340	-56	95.8%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、松阪市、四日市市、桑名市、鈴鹿市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。